

# GHP 1万6497立方

## 箕面市の20校体育館 前期LPガス消費量

箕面市（倉田哲郎市長）は市内全20の小中学校体育館に導入したLPガス仕様のGHP（計56台1056馬力）と非常用発電機（9・9キロボルト×20基）の2018年度の使用実績を明らかにした。熱中症対策で当初の計画より稼働率が高まったものの、電気空調に比べコストメリットが大きく満足度が高い。昨年4月〜今年3月のLPガス消費量は12小学校で7008・3立方メートル（うち発電機30・4

## 発電機は310立方

立方メートル、8中学校（うち2校は小中一貫校）で9800・3立方メートル（うち発電機280・3立方メートル）となった。税込み支払額は小学校で240万2千円、中学校で324万7千円。中学校で発電機向け消費量が多かったのは、夏休み期間の増築工事

# 支払額564万円と割安

たのは、夏休み期間の増築工事  
で校舎が停電していたので学童  
保育や体育館で使用したため。  
市は昨春、全域が都市ガス供給  
区域でありながらLPガスの特性  
や保安、供給体制、経済性を  
高く評価し、電気空調との競  
合の結果、LPガス空調と発電  
機を採用した。総務省の緊急防  
災・減災事業債を活用した事例  
としても全国から注目を集めて  
いる。昨年相次いだ災害では体  
育館を避難所として開放し、G  
HPや非常用発電機を稼働し

た。また暑さ指数（WBGT）  
を基準に屋外活動をルール化し  
基準値を上回ると屋外活動を禁  
止する。特に部活動で体育館を  
使用するケースが多いという。  
学校別使用状況は次の通り。  
▽小学校＝箕面288・7立  
方メートル、北172立方メートル、南66  
7・1立方メートル、西679・6立  
方メートル、西南590・6立方メートル、  
中713・2立方メートル、東768  
・2立方メートル、萱野489・8立  
方メートル、萱野北479・3立方  
メートル、萱野東772・1立方メートル、  
豊川北631・8立方メートル、豊川  
南755・9立方メートル▽中学校＝  
第一1641・9立方メートル、第二  
1582・8立方メートル、第三15  
16・3立方メートル、第四1216  
・1立方メートル、第五1192・5  
立方メートル、第六1031立方メートル、  
とどろみ580・9立方メートル、彩  
都1038・8立方メートル（うち発  
電機271・2立方メートル）